

プレスリリース No. 1 - KYOIプロジェクト - 2年目

KYOI、ペコリーノ・ロマーノDOPの驚異が東京で開催されたFoodexを席巻

イタリアの卓越した乳製品製造を象徴するペコリーノ・ロマーノDOPは、世界中から72,000人を超える来場者を集めた日本最大の農産物食品展「Foodex Japan」で誰もが認める主役の地位を確立しました。ペコリーノ・ロマーノDOP保護協会のブースには820人の来場者が訪れ、バイヤーや販売業者と直接コンタクトを取った参加者は374人に上りました。このイベントは、品質とヨーロッパの伝統への関心が高まる市場においてペコリーノ・ロマーノDOPの存在感を高める絶好の機会となりました。

同保護協会のFoodex Japanへの出展は、欧州連合が共同出資する3年間の「KYOI 2024-2027」プロジェクトの一環であり、その主な目的は、ペコリーノ・ロマーノDOPをはじめとする欧州認証製品を日本社会に普及させ、アジア市場での地位をさらに強化することです。「KYOI」つまり「驚異」は、ペコリーノ・ロマーノDOPのように、非常に用途が広く、美味しい製品に対して消費者が感じる感動を表しています。このプロジェクトは、世界における「メイド・イン・イタリア」の真の親善大使であるこのチーズ独特の品質を際立たせた、前回のCHIZU 2020-2023の成功に続くものです。

「ペコリーノ・ロマーノDOPは、品質、伝統、革新の代名詞であり、この価値を東京で開催されたFoodexで力強く伝えました。このチーズは、試食して、その起源や歴史を知りたいという来場者の間で大きな成功を収めました。このイベントは、専門家の注目を集め、日本において伝統的なイタリア料理の素晴らしさを継続的に宣伝するための戦略的な機会です」と、同協会のジャンニ・マオッディ会長は述べています。

2024年は、日本におけるイタリア食品の成長の年となり、チーズの分野では14.9%という大きな増加が見られました。これは、日本におけるイタリア食品の需要が高まっていることを裏付けています。同協会は、「KYOI」を通じてこの傾向を強化し、日本における市場を拡大することで、前回のプロジェクトで得られた成功を確固たるものとするとともに、何世紀にもわたり受け継がれてきた高品質の伝統的なチーズによる認知度の向上を目指しています。このチーズは、土地と文化の交わりにより生み出され、世界中で評価されているユニークな製品の象徴なのです。